

2017年7月17日

自然ふれあい楽校サマースクール 2017

環境カウンセラー養成支援講座 実施報告

NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA) 高橋 弘二
(横須賀「水と環境」研究会)

- 開催日時：2017年7月16日(日) 10時10分～14時20分
- 会場： 湘南国際村センター206号室
- 受講者： 3名、申込は4名だったが、1名(横須賀市佐島)前日に欠席連絡あり
小堀氏(千葉県松戸市)、野中氏(葉山町)、斎藤氏(川崎市・KECA会員)
- 講師： 高橋弘二(主担当)、中村修二郎(以上、KECA)、今井俊一(自然ふれあい楽校)
高橋利夫(KECA副理事長、挨拶の後、講師サポート)
- 参加費： @1,000円

[事前の連絡]

参加申込みのあった4名にEメールで「申請書作成要領」を送付し、講座当日には、申請書、課題論文の概略を作成してくるようお願いした。

[講義内容]

1. 挨拶：NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会 副理事長 高橋 利夫
2. 講師自己紹介、参加者自己紹介
3. 内容

[午前]

- (1) 環境カウンセラー登録制度と、かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)
- (2) 環境カウンセラー養成支援講座 =主として市民部門=
- (3) 環境カウンセラー申請書作成要領について
以上、パワーポイントを使用して説明(高橋)
- (4) 「申請書作成要領」のアドバイス、「面接」の体験談について、今井、中村が説明
高橋副理事長からもアドバイスがあった。

[午後]

- (5) 課題論文について
 - ①野中氏が「課題論文(案)」を作成し、前日Eメールで送ってくれたので、コピーを全員に配布して、まず野中氏から論文作成の主旨を説明してもらった。
これに対して、高橋から全般のアドバイスをし、その後、全員が感想、アドバイスを述べた。
 - ・内容がわかるタイトル、活動の具体例を盛り込む
 - ・総字数(Wordでの確認法を指導)は3,000字以上、できれば3,500～4,000字に
 - ・「まとめ・結論」として自分がこれからやりたいこと、できることを明確に記載すること。
 - ②小堀氏、斎藤氏は、文章を準備してこなかったもので、「要旨・まとめ」について考えていることを話してもらい、全員が感想・アドバイスを述べた。

(6) まとめ

- ①活動実績の「公印」をもらうものは、早めに行うこと。
 - ②作成の段階での問合せ、必要あれば申請書の照査を行う（高橋までEメールのこと）
 - ③なるべく期限前に作成し送付すること
 - ④送付前に必ずチェックリストで漏れがないことを確認して送付すること
- 以上を伝え、14時20分、講座を終了した。

[感想]

- (1) 千葉・松戸市の小堀氏が参加されたので（朝6時に家を出たとのこと）、講師一同遣り甲斐を感じ、それぞれが持つ知見・体験に基づき出来る限りのアドバイスをした。
- (2) KECA 高橋利夫副理事長（川崎から）に挨拶してもらったが、最後まで参加して適宜、講師としてのアドバイスもしてくれたので、大変役立った。
- (3) 小堀氏、斎藤氏が課題論文を文章で準備してこなかったため、「課題論文の作成について」の詳しい適切なアドバイスができなかったが、それ以外は講師3人＋高橋副理事長で対応し、受講者にとって有益な講座であったと思う。

以上

写真 環境カウンセラー養成支援講座風景

